

長期定点観測データ(2011年3月～2018年5月)

2011年3月より、毎月の清掃活動の後、GPS測量機器を使って、本社屋上、櫛ノ山、米ノ山、細島、竹島、幡浦、梶木において定点観測を行っています。

以下に、示すグラフは、前6回調査における座標の平均値と当該回観測値との差をとったグラフです。Xの較差が－である場合は北方向に、＋である場合には南方向に、またYの較差が－である場合は西方向に、＋である場合には東方向に地殻変動が生じていることを意味します。

なお、村井俊治教授らの研究によりますと、大地震の発生前には 4cm を超える異常な変動を起こすとされています¹⁾。これまでにそのような大きな変動は見られておりません。参考として、宮崎県日向市で震度 3 以上が観測された地震の情報²⁾を掲載しております。

- 1) 村井俊治：地震は必ず予測できる！（集英社新書）
- 2) 気象庁震度データベース



図 測量地点と電子基準点の位置









